

宮城県気仙沼向洋高等学校 沿革抄

- 明治 34. 2 気仙沼町立水産補習学校設置決議
4 町役場の一部に仮校舎として開校
35. 4 郡立本吉水産学校に昇格
44. 4 実業学校本科程度(甲種)となる
- 大正 10. 3 宮城県水産講習所として県に移管
- 昭和 2. 3 宮城県水産試験場気仙沼分場講習部に改組
17. 1 宮城県水産講習所に再び改組
20. 4 所管を農林省より教学科に移され、宮城県気仙沼水産学校となる
5 開校記念式典を挙行
23. 4 学制改革により宮城県気仙沼水産高等学校に昇格
24. 2 水産製造科増設認可
26. 2 漁業科卒業生に対して海技免状の特典を受ける
28. 9 練習船「宮城丸」(221.5トン)竣工
29. 2 機関科・無線専攻科の両科増設認可
31. 3 漁業専攻科増設認可
36. 9 無線専攻科卒業生に対し第三級無線通信士の予備試験・英語の試験免除が認定される
38. 3 無線通信科増設認可
41. 3 練習船「みやぎ丸」(396.65トン)竣工
42. 7 県議会において学校移転の議案採択
43. 3 気水丸(初代2.5トン)竣工
44. 3 無線通信科に第三級無線通信士の予備試験及び英語・電気通信術の試験免除が認定される
46. 2 学校移転用地の階上塩田跡の埋立工事起工式
48. 12 第一種船舶職員養成施設(乙二航・内乙二機)に指定
51. 3 水産実習船「宮城丸」(496.09トン)竣工
10 本校教育振興会設立
52. 4 新校舎完成引渡し、移転
11 機関運転実習室完成引渡し
53. 3 水産製造科・無線通信科男女共学制実施、製造実習室増築完成、冷凍・冷蔵実習室完成、体育館完成
10 新校舎落成記念式典挙行
54. 3 第一種船舶職員養成施設(乙一航・内乙一機)に指定、漁業製造実習棟完成、気水丸(2代目4.86トン)竣工、推薦入学制実施
55. 8 プール(25m)完成
56. 5 創立80周年記念式典挙行
12 生徒会館完成
57. 9 校木〔けやき〕植樹
58. 2 格技場完成
12 無線通信科を船舶局無線従事者証明の訓練校として認定される

- 59. 3 第一種船舶職員養成施設(四級航・四級内機)に指定、救命・消火等免許講習機関に指定、校庭改修(暗渠排水等)、校歌・応援歌のレコード作成
- 61. 3 同窓会より新校旗贈呈
- 63. 3 ウェイトリフティング部練習場完成
- 7 ヨット部艇庫完成
- 平成 元年 3 水産実習船「宮城丸」(497トン)竣工
- 6. 3 家庭科実習棟完成
- 4 宮城県気仙沼向洋高等学校に校名変更、3学科(情報海洋科・産業経済科・機械技術科)全科男女共学
- 7. 3 小型実習船「シーラス」(初代19トン)竣工
- 7 総合実習棟完成、駐輪場完成
- 8. 2 情報海洋科海洋類型に一級小型船舶操縦士養成施設の指定、情報海洋科情報電子類型にネットワーク接続技術者「工事担任者」(AI・DD第3種)「電気通信技術の基礎」の試験免除が認定される
- 9. 1 情報海洋科情報電子類型に第一級海上特殊無線技士の認定、専攻科無線科に第四級海上無線通信士が認定される
- 11. 8 情報海洋科情報電子類型に第一級陸上特殊無線技士が認定される
- 13. 11 創立百周年記念式典挙行並びに中庭整備事業完了
- 14. 3 レーダーARPAシミュレータ設置
- 5 創立百周年記念誌「航跡永遠に－輝く未来－」刊行
- 15. 3 海洋総合実習船「宮城丸」(650トン)竣工
- 17. 10 校舎棟耐震補強工事完了(16・17年度)
- 19. 9 漁業科実習工場及び機関実習棟、耐震補強工事完了
- 23. 3 東日本大震災により校舎に甚大な被害を受ける
- 5 仮設校舎建設までの間、学科ごとに3校(気仙沼西高・本吉響高・米谷工業高)に分かれて教育活動を再開
- 11 気仙沼高校第二運動場に仮設校舎完成・移転
- 25. 3 気仙沼高校第二運動場に仮設の総合実習棟・機械実習棟・製造実習棟・体育館完成
- 各実習棟に備品859点設置
- 27. 5 気仙沼高校第二運動場の仮設校舎西側に仮設運動場完成
- 30. 3 小型実習船「シーラス」(2代目19トン)竣工
- 7 新校舎完成(7.19)
- 新校舎共用開始(7.20)
- 仮設校舎閉校舎式(7.24)
- 8 新校舎入校舎式及び完成披露会(8.24)